

# 楽園だより

今までの暮らし<sup>が</sup>変わる。玄関から、<sup>は</sup>っとする家。

2022年5月1日 No.66

## Our Works

UA=0.36W/m2K C=0.4cm2/m2

外観の青空に映える白い外壁は  
玄関ドアやベランダ手すりとのカラーコーディネートも  
相性バッチリです



親世帯・客間 隣の寝室との間仕切り戸を開けると1室に

親世帯・寝室 床は全面タタミ敷き

窓からは苗木城址



子世帯・リビングとミニキッチン（上部はロフト）

子世帯・リビング上部のロフトは隠れ家



共有スペース 1Fトイレ／玄関／シューズクローゼット



### 担当者から

築40年の家を解体して建て替えました。

1Fは共有ゾーンとご両親様スペース、2Fが娘様ご夫婦スペースの二世帯住宅です。  
お互いのプライベート空間も確保つつ、洗面室や脱衣室の共有スペースも使用中は扉で間仕切りして、  
それぞれが気兼ねなく使えるようにしました。

いつも楽しくにぎやかな中でのお打合せで、ご家族が多いほどご要望も多く、まとめることが困難になりそうなところですが、  
ご家族それぞれが思いを尊重し合い、全員で考える部分、それぞれが考える部分が明確になっていて、とてもスムーズに進めることができました。ご両親様は家づくりに関してとてもよくお勉強されていて、いつも打合せの内容をしっかりとメモされて、毎回たくさんのご質問をいただき、そのたびに感心しておりました。そんな思いやりのある優しいご家族の雰囲気がそのまま伝わつてくるお宅になりました。



共有スペース 1Fキッチン／洗面脱衣室（間仕切り戸で洗面と脱衣室を別々に使うことができます）

### 木造の新築共同住宅初のパッシブハウス認定を目指す！

### 施工レポート



2月に上棟した木造大型パネルの現場は、工事も順調に進み現在は外壁を張っています。  
今回採用した外壁材は無垢の杉板です。写真（左）の張り方は鎧張りといって、木造住宅の外壁に用いられる伝統的な張り方で、まさに鎧のように板を重ねていく張り方です。この杉板の使用量は約15m<sup>2</sup>で、これに蓄えられる炭素の固定量は9.1tもあり、樹高18mの杉でなんと134本に相当する炭素の固定量になります。木材をふんだんに使用することは、地球温暖化など気候変動に関わる大気中の二酸化炭素増加を抑制する効果があります！

今回、杉の外壁材を保護する塗料はウッドロングエコ（木材防護保持剤）を使用しました。

ウッドロングエコは、雨などの湿潤を繰りかえすたびに天然成分が含浸する木材防護保持剤で、塗膜性の塗料のようにはがれることなく施工後の再塗装が不要な塗料です。防腐剤ではないので腐った場合は部分的に張り替えながらメンテナンスしていきます。

換気システムは、日本スティーベル社の第1種ダクト式熱交換換気扇です。11台設置するので給排気ダクトが天井裏にくまなく配管されています。熱交換型換気システムとは、換気時に熱を回収して室内に戻すシステムです。熱交換換気は屋外に排出する汚れた空気の熱を給気する新鮮な外気に移すことで温度を室温に近づけます。住宅の熱損失の30%は、換気によるロスだと言われています。このシステムの熱交換率は90%、ということは換気による熱損失が30%から3%となり、冷暖房費を大幅に削減することができます。換気扇の選定は高断熱高気密には欠かせない設備なのでとっても重要です！ただし、気密性の低い建物ではすきま風が入ってしまい、熱交換換気扇の本来の性能が発揮できません。

